PP4

アーレント

行為というのは人間の振る舞い方の公的なもの、様態的なもの。

行為の内容は社会的な（私的な）もの、政治的なものかは関係ない。

アーレントにとっての社会的なもの＝全ての人間が求めるような欲求に根ざした要求

政治的なもの＝個別の視点からされる要求。個性の発現。

フランス革命＝社会的な要求を持った行為（公的なアクション）

ハーバーマス

公共性の構造転換

* 市民的公共性＝近代社会に特有な公共性国家と区別される市民社会において形成される、公衆の自由で批判的な言論の空間である。カントの公共性理念の継承。

1. ４つの公共性
   1. ギリシア的公共性＝人々の間に形成される discourse
   2. 示威的ないし顕示的公共性＝封建社会または絶対主義以前の社会―人々の前で展開される公共性、王による統制を受ける＜スペクタクル＞
   3. 市民的公共性＝人々の間に形成される公共性　discourse
   4. Manipulative public – Born in late capitalism, a public that exists in front of the people. Manipulated by consumeristic manipulation, the enforcement and inculcation of values.
2. The conditions and characteristics of a civic public
   1. The economic/social conditions of a civic public
      1. The insurance of free competition
      2. Independent small manufacturers
      3. Self-restrictive harmony
      4. When these conditions are fulfilled, a civic public is able to exist a) as an “area beyond control” and b) as a realm open for all people (excluding women) and that grants them access to fortune and education, qualifications necessary for entry into the political public.
   2. 市民的公共性の特徴 1国家と社会の分離を前提とし(「自由主義モデル」)、社会に形成される公共性。 2対抗的な公共性(公権力の公共性への対抗、宮廷文化への対抗)。 3公開性を条件とする言論の空間。
   3. 公共性と憲法:近代の憲法(典)には公共性を支える諸条件が表現される 1良心の自由、表現の自由・出版の自由・集会結社の自由等―公論の条件の保障。 2請願権・選挙権・被選挙権等―公衆の政治的権利の保障。 3人身の自由・住居の不可侵等―親密圏における自由の保障。 4私有財産の保護等―市民社会における私人の自由の保障。
3. Literary public and political public
   1. Literary public – a realm of critique. AKA apolitical form of public. Coffe house, salon, dinner parties, bokk clubs, etc. Characterized by equality, rationality, antiexclusivity, relativizes traditional authorities like the church or the royalties and creates a civic culture in opposition (or beyond the control/management of) conventional existing authorities.
   2. 政治的公共性(die politische Öffentlichkeit):「公衆が支配を「理性」の尺度と「法律」 の形式に従わせ、そのことによって支配を実質的に転換させる」(『構造転換』, 47 頁)。 公開性のもとでの政治的な意見-意志形成の二つの機能: 1民主的正統化:公共圏での公論⇒議会での立法⇒統治の間に正統化の連関を確立する。 2民主的統制:国家活動(統治)に関する批判的監査。